



菅野大志の

「いどばた会議」

vol.9

まちづくりに関する活動や近況などを
西川町長・菅野大志が綴ります。

私の覚悟、皆さまに届けたい!～施政方針の抜粋より～

1年前までは、私は、霞が関において、内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局に働いておりましたが、西川町町長となり10カ月が経過しました。町長職は、身体的には前職に比して楽ですが、町民の命を、安全を、未来を預かる重責を感じながら日々職務を進めております。

●西川の課題は、町の積極姿勢の堅持、議会のマインドチェンジ!

西川町民歌の最後には、「ああ西川の町、希望あり」という歌詞がございます。町づくりへの道筋は見えませんか。昨年まで外から見てきた西川町は、残念ながらそうは見えませんでした。町は補助金申請にチャレンジしない、議会は当局から「検討します」との回答で安心し、実現した政策は少ない。

これでは、町と町民との溝、もしかしたら町民と議員との溝も広まっていきます。1年前に西川町に戻り、地域の話や聞くと、これが仮説でないことを知りました。



●8年後には生産年齢人口を増加させるぞ!

さて、私は、この職に就く前、4省庁にわたり11年間地方創生を担当してまいりました。いわば地方創生のプロです。一方で、現場の経験をしたと考え、北上市の地域商社や、福島市で一般社団法人「ちいきん会」を立ち上げ、2,800名の仲間と地域課題解決に資する事業を全国で創出してあります。

●地域の事業を生むための5箇条!

- (1) 町内外の立場を超えた有志の心理的安全な対話
 - (2) 外のチカラを活用する。「つながり」を大切にする町の明確な姿勢の堅持
 - (3) 誰が何で困っているか・何が得意か可視化する現場力、ニーズベースの政策
 - (4) 共感を生み出すためには相手の立場にたち先回りして行動する人材の育成
 - (5) くじけそうになっても「大丈夫!もう一度挑戦しよう」と奮い立たせる熱意
- 以上5点についてボランティア活動の実践を通じた結論でございます。

●自治体間競争が前提の時代!町長は名誉職にあらず経営者。勝ち組にする使命がある!

さて、私は43歳で町長となりましたが、民間企業での経営経験を踏まえ、しっかり西川町を経営してまいります。町の経営資源を最大限に活用し、「利益の最大化、つまり町民の幸福と町の発展」を図ってまいります。町長は名誉職にあらず、今の町長は経営感覚が必要。なぜなら、今は、以前と違って、地方活性化は、自治体間の競争を前提としている。町長は、自分が預かる自治体を勝ち組にする使命があります。私が最も重視する経営資源は「人」です。そのために、役場職員には以下を言っております。

- (1) 前例踏襲でなく「なぜこの仕事をしているのか」という目的意識の徹底
- (2) 課を超えた情報共有
- (3) 本気でチャレンジする熱意

(4) 共感を呼び起こすのは、町職員の姿勢。基本は「元気なあいさつ」です。町民の皆さまは、役場に訪れた際、元気に挨拶をする職員が徐々に増えていることを実感していると評価いただいております。

●国へのチャレンジ補助申請をうまく活用。順調です!目指せ10億円!

この交付金は、既存の事業であっても認められる可能性があります。例えばモウモウまつり。これまでは町の単独事業でしたが、コロナ対応の分散型の交流人口増加事業とも言え、地域のブランド牛があり、デジタル田園推進交付金のドン

ピジャの事業で認められます。このような既存の事業と、職員のすっだいな新しい事業をまとめて、11本のチャレンジ交付金を申請したところです。国から得る国庫支出金の歳入が倍増したのは、私とともに、はじめて補助金を申請した課長補佐、係長クラスの努力の賜物です。彼らのおかげで、私は西川の未来を感じることができました。ありがとうございました。



品名	単価	数量	金額	備考
テレフ	3/4	22M	0	石川
拠点	1/2	344M	0	石川
拠点	1/2	550M	0	石川
推進	1/2	21M	0	石川
推進	1/2	33M	0	石川
推進	1/2	30M	0	石川
推進	1/2	10M	0	石川

●令和5年度当初予算 過去最大 66.6億円(前年費:+10.5億円) 安心して下さい!貯金の取崩は昨年より減!国の補助金にチャレンジし獲得!

(参考)令和5年度当初予算、河北町103億円、朝日町56億円、大江町63億円

町民の皆さまや職員のすっだいなことを実現させたいとの想いで予算査定をした結果、過去最大の予算となりました。ご心配されるかもしれませんが、「安心して下さい!」。

なぜなら、国の補助を倍増させたほか、ふるさと納税による民間資金を呼び込み、町の貯金の取崩は、昨年度より減って持続可能な予算編成となっています。新規事業は、①ニーズベース、②地域課題の解決、③町内への経済効果、④関係人口の拡大、⑤持続可能性、そして⑥財源を確保しているかの観点から重点配分します。

●マイナンバー交付は、全国第10位!国の補助金獲得の追い風に!

国の補助が得られたのは、地域と町、民間企業がアイデアを出し合ったからであり、追い風になったのは、町民の皆さまにもご協力いただいたマイナンバーカード交付率の高さのおかげです。

●過去最大の予算は、何に使うの??

- ① 会計年度任用職員の報酬単価(寒河江市より高く)のベースアップ
- ② あいべ付近にコインランドリー・カフェを併設した産業交流施設を整備
- ③ 月山湖のカヌー艇庫整備などの月山カヌービレッジ構想
- ④ 全世帯タブレット配布し、健康寿命延伸や安否確認に活用!
- ⑤ 観光客、西川ファンと町民をつなぐ事業(シートウサミット・温泉ガストロノミー)

●民間企業からの提案150件!当初予算は毎年60億円台確保するのダァ!

昨年4月の町長就任以来、面白い事業を行っている、報道機関にも取り上げられ、また、それを体験したユーザーからの西川町の他己紹介により、国や県、町外の民間企業も注目していただくことができました。既に西川町に対して140件以上の提案をいただいております。この予算規模を令和5年度以降も維持できるように、私も永田町や霞が関に伺って、西川町の発展に尽力していく覚悟です。

●攻撃は最大の防御の時代、つまり、挑戦は最大の人口増加政策ダァ!〔一番言いたいこと〕

私は、小さな町での愚直な挑戦の反復に対して、共感を生み出し、人と人を丁寧につなぎ、ともに汗を流して、町民や関わった関係人口のウェルビーイングを高め、共創と笑顔、チャレンジし続ける町に変えてまいります。

一般的には、賛成9割、反対1割の政策であっても、これを、スピード感をもって進めていけば、選挙において批判票になり苦戦すると言われております。私は、それを恐れていません!歩みを止めることはありません!

なぜなら、西川町に残された時間はありません。人口4,000名を割り込むまで、あと7年。多くの町民があきらめかけていた西川の未来に、光を見出すことが政治であります。私は、これまでの役人としての経験、民間人としての経験をすべて西川にささげます。この覚悟と熱意が、議員の皆さま、町民の皆さま、職員に対しても伝わることを願っております。

「攻撃は最大の防御」「挑戦は最大の人口増加政策」との志の下、臆せずチャレンジし続け、一発逆転!8年後の生産年齢人口の増加に向けて、本気で取り組み、ともに対話し、今、生まれ変わろうと、岐路にたたずむ西川町の先頭を歩んでまいります。